

冬の名残のまだ去りやらぬ時期ですが、一日一日と暖かい春へと近づいている兆しが見えます。本日は私たち三十八期のためにこのような素晴らしい式を挙げてくださりありがとうございます。また、お忙しい中ご出席くださいましたご来賓の皆様、校長先生、副校長先生、先生方、在校生代表の方、卒業生一同心から御礼申し上げます。

私達三十八期の高校生活は誰も体験できない特別な三年間だったと思います。コロナウィルスの蔓延防止のために入学式が中止になり、休校が続いた三年前の春。学校から届いた課題をやっていく中で、授業が早く始まってほしい気持ちや自分のクラスメイトに会ってみたい気持ちが段々と大きくなっていきました。クラス全員が初めて集まったのは六月の終わり頃でした。初めて会う人が多く緊張しましたが、とても優しくて気さくな人ばかりでこれからの生活に期待が高まっていきました。やっと始まった高校生活は忙しく、勉強のレベルも格段に上がりましたか中学の時よりも出来ることの幅が広がったことで毎日が充実していきました。部活では美術部に所属し、沢山の作品を作ることが出来ました。一緒にいたら悩みなど吹き飛んでしまうぐらい楽しくて笑ってしまって、忘れることなどできない大事な友達が出来ました。作品展に向けての制作に行き詰まった時はみんなが頑張っているところを見てやる気もらっていました。そのおかげで納得のいく作品を生み出せました。素敵な時間をみんなと過ごせたことを、私は嬉しく思います。

一、二年生の時には規模の縮小や延期の末中止になった行事が沢山ありました。健脚大会や文化祭が例年通りにできず修学旅行も無くなったという悔しい思いでいっぱいだった分、今年度の行事には全力を尽くそうと体育祭では団旗制作や援団に参加したり、文化祭では開校四十周年を祝うための演劇で責任者、主演を務めたりとやりたいと思えたことができました。七人という少ない人数で劇をすることは今までやったどんなことよりも難しかったけれど無事に成功したことで乗り越えられたことへの達成感を得ることが出来ました。「挑戦すること」、「諦めずやり遂げること」。これまでできなかったことに対しての気持ちを二つのテーマに乗せて全て表現し演じ切ることができました。

小平南高校で過ごした三年間で、私は部活や生徒会の仲間たち、クラスの友達などの沢山のひとと出会い、みんなに支えられてここまで来ることができました。その中でも一年生の時から授業や部活でお世話になった美術科の渡邊礼子先生は間違いなく一番お世話になった先生です。先生はどんな時も笑顔で優しく沢山話を聞いてくださいました。渡邊先生に教えてもらったことは私の一番の誇りです。先生が居なければ今ここで話すことは出来ていないと言える程、必要なことを教えてくださった先生です。受験指導ではお忙しい中面接練習を行ってくださった中込先生をはじめ、共通テスト対策で夏期構習や丁寧な解説が載った演習プリント等を作成して、沢山のサポートをしてくださった数学科の高須先生の他、学年団の先生方が支えてくださったおかげで無事大学に合格することができました。三年間本当にありがとうございました。これから私たちはそれぞれの進路に向かって違う道を歩んでいきます。その道は今までとは比べ物にならないほど沢山の困難や苦勞が待ち受けているでしょう。解決できずに立ち止まってしまうこともあるかもしれません。そんな時は、友

と過ごした特別な日々を思い出してください。きっとそこには、困難を乗り越えるための力があるはずです。

最後に、私たちの高校生活を支えてくださった全ての方々に心から感謝の気持ちを伝えたいと重み明日。校長先生をはじめとする諸先生方、共に日々を過ごした友人たち、暖かく見守ってくれた家族の皆さん。本当にお世話になりました。そして、小平南高等学校の更なる発展をそつぎょうせい一同、心よりお祈り申し上げ、答辞とさせていただきます。

令和五年3月8日

卒業生代表